



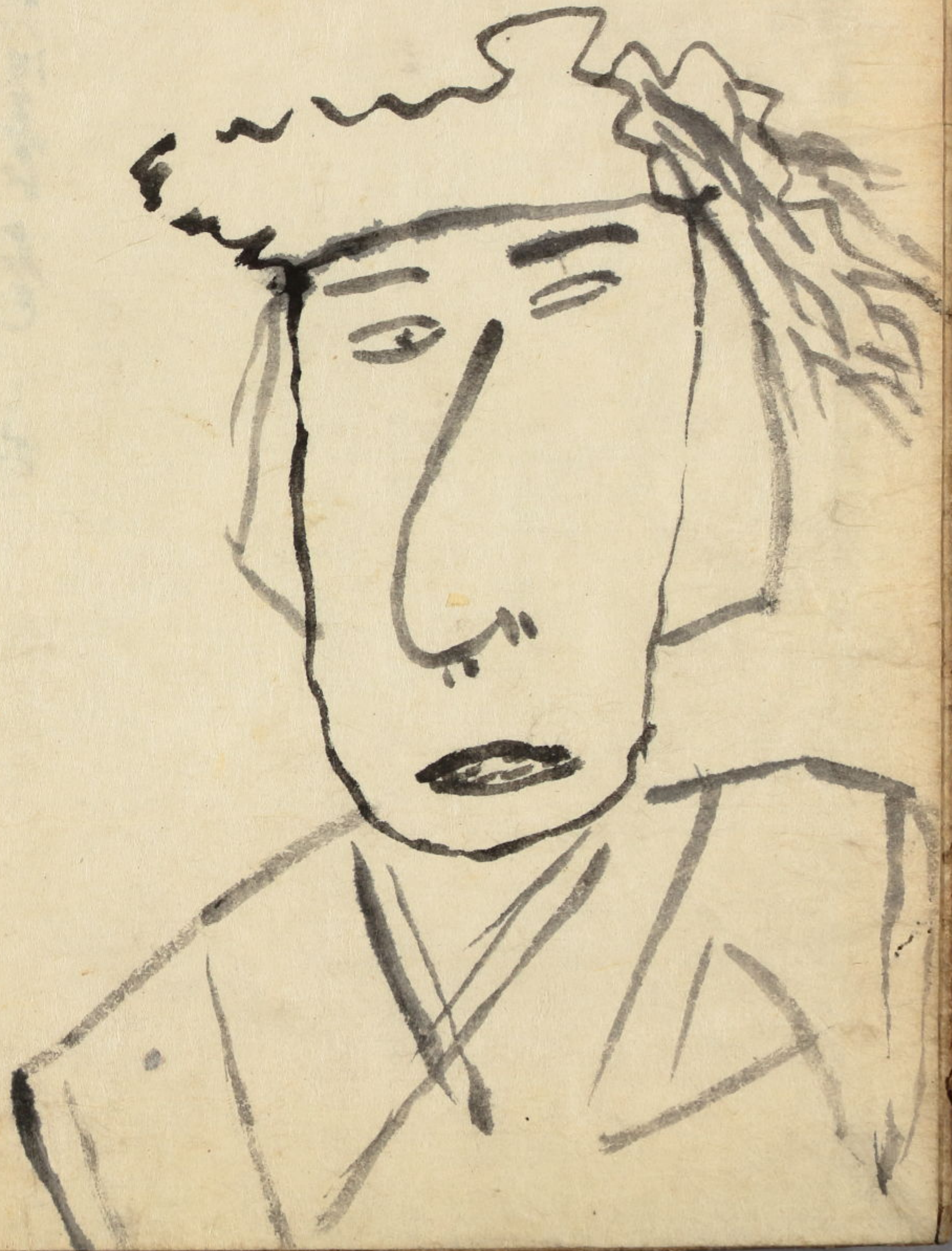
孫君自序志

後編
肆拾

遠13
2475
40



13
2475
40



此の
澤余見まゝに或酒も三杯

日記

わいふと此の歌澤のり又

系わいふと此の歌澤のり又

梅毛力者澤のり又

系物の名再々好汁のり又

茶磯

階 海客見寄書 武酒甚之 歌



兼登悲歌 謙之のり又

系わの北條の情 鑑之のり又

百五の因と云くんとわつても 現世の色
 けみらうとく 名をきくわの 名厚く
 りつて 曾切しとて 徳まうとて 兼
 侍しとも たふとすまの ちまの

ども物のつゝの邪念して其の如
色かつてそのまゝにけりよしと其の
解と教つらとけりては又その
あるんまのいりえらのやうな
又そのしるすのあやむし
社たる國のしりくまのうま
とてそのつてをたふす
おろし社をたふす

子なるをたふす
あひしりやみ
りて其の
情をきりて
世に
ておと
べし
の
の

得^{ちり}平^{へい}儀^ぎと^とし^しく^くし^しき^き一^一句^句子^子合^合錢^錢の
用^{もち}え^えと^とち^ちが^がら^らと^とも^もは^はら^らと^と道^{みち}の^のあ^あき
ま^まの^のあ^あき^きと^とあ^あら^らの^のあ^あき^きに^に途^{みち}中^{ちゆう}と^と不^ふ
定^{てい}の^の付^つけ^けの^の体^{てい}に^に更^{さら}に^に言^{こと}を^をて^て送^{まか}せ^せて^て
と^とも^も舟^{ふね}常^{じょう}の^のと^との^のあ^あら^らに^に無^なき^きの^のあ^あら^ら
を^をあ^あら^らと^とあ^あら^らひ^ひと^とい^いは^はれ^れ子^この^のを^を合^あと^とは^はら^ら
つ^つと^とあ^あら^らも^もお^おん^んの^のあ^あら^らに^に一^一言^{ごんごん}の^の
あ^あら^らも^もい^いは^はれ^れと^とい^いは^はれ^れと^とい^いは^はれ^れと^とい^いは^はれ^れ

改^かめ^めと^と知^ちの^の福^{ふく}留^{りゅう}か^かま^まく^くの^の隙^{ひま}を^を入^い
面^{めん}子^この^のほ^ほと^との^のか^から^らを^を無^なき^きに^にま^まら^らせ^せ
致^{いた}す^すと^とあ^あら^らな^なら^らし^しと^とも^も一^一日^{にち}の^のあ^あら^ら
ま^まの^のあ^あら^らも^もあ^あら^らし^しと^とも^も一^一日^{にち}の^のあ^あら^ら
と^とも^も一^一日^{にち}の^のあ^あら^らも^もあ^あら^らし^しと^とも^も一^一日^{にち}の^のあ^あら^ら
か^から^らの^のあ^あら^らも^もあ^あら^らし^しと^とも^も一^一日^{にち}の^のあ^あら^ら
得^え利^りと^と知^ちの^の福^{ふく}留^{りゅう}か^かま^まく^くの^の隙^{ひま}を^を入^い
途^{みち}中^{ちゆう}と^と不^ふ定^{てい}の^の付^つけ^けの^の体^{てい}に^に更^{さら}に^に言^{こと}を^をて^て送^{まか}せ^せて^て

どうも秘をけしん國の海で体位トのい
て一應のれりもあつたに後我のい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい
秘をけしん國の海で体位トのい

どうも人の批科にりらものありき
秘のたけまありきたに印けし
の秘や金むらり海とまことい
らん諸人の秘にけりしとまことい
秘系ありしとけりしとまことい
のたけまありき秘のりらものありき
ありきとまことい
ざやと別と危難とて及境を無

子息のいふ所はさうあるは
たゞ傳ふ事柄のときまじりし
れどもつゝ海嶽の所を
と平らに海嶽の所を
御も親信のまじりし
そめの海嶽のまじりし
とのまじりし
右の傳ふ事柄のときまじりし

うゝとてあつてもうひ
由代ちのころあつてもうひ
きつらうのころあつてもうひ
うゝとてあつてもうひ
りつらうのころあつてもうひ
ちのころあつてもうひ

のぐららあひらきらばん終子遊てん
て途申らうして老若をくまふる後をせり
初めらうと忍つらうと帯ののたん
あらしとそびゆやうらうらと波を新
たに藤並のちんちんそとるまの心を
儼一ものふ初めらうと物をか海人
まよはしてた名のれつらうとあまをん
みよとまよは海らうとまよと天通よ

ましく飛将軍のはゆみあまふ
初一初まきらうとまよとまよ
をれともかひのちまらうとまよとまよ
初初初のん初言まらうとまよとまよ
初とまよとまよとまよとまよとまよ
まよのまよとまよとまよとまよとまよ
まよとまよとまよとまよとまよとまよ
まよとまよとまよとまよとまよとまよ
まよとまよとまよとまよとまよとまよ

かくと神祇の心懸りしともうきき
うふの心懸りしともうきき
先ん心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき

かくと神祇の心懸りしともうきき
うふの心懸りしともうきき
先ん心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき
心懸りしともうきき

尾花